

東都医健発第2046号
(地区第957号)
平成30年10月19日

地区医師会担当理事 殿

公益社団法人
東京都医師会
理事 川上 一 恵



「東京都インフルエンザ情報 第1号」の送付について

このたび、東京都健康安全研究センターより、「東京都インフルエンザ情報 第1号」が別添のとおり届きました。

ご参考までに送付いたしますのでご活用くださいますようお願いいたします。

なお、この情報は、東京都健康安全研究センターのホームページからもご覧いただけますことを申し添えます。(<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>)

(公社) 東京都医師会 疾病対策課

TEL 03-3294-8837 (直通)

FAX 03-3292-7097

関 係 各 位

東京都健康安全研究センター所長
(公 印 省 略)

「東京都インフルエンザ情報」の発行について

日頃から東京都健康安全研究センターの業務にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。

今年度も下記のとおり「東京都インフルエンザ情報」を発行します。業務遂行の一環としてご活用いただければ幸いです。

記

- 1 資料名
東京都インフルエンザ情報
- 2 掲載する情報
感染症発生動向調査事業によるインフルエンザ患者報告数及び東京都健康安全研究センターにおけるインフルエンザウイルス検査状況など
- 3 発行期間等
インフルエンザの流行が予測される時期（概ね10月から翌年3月下旬頃まで）に、原則として週1回、金曜日に発行
- 4 提供方法等
東京都健康安全研究センターのホームページに掲載
アドレス <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>

<問い合わせ先>

東京都健康安全研究センター健康危機管理情報課

電 話：03-3363-3213（直通）

F A X：03-5332-7365

E-mail：S0000786@section.metro.toko.jp

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第 1 号)のトピックス

- 40週(10月1日～7日)のインフルエンザ患者報告数は100人、
定点当たり 0.24人 (去年同期 定点当たり 0.14人)
- 40週のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖は 2件
- 沖縄でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が 1人を超える

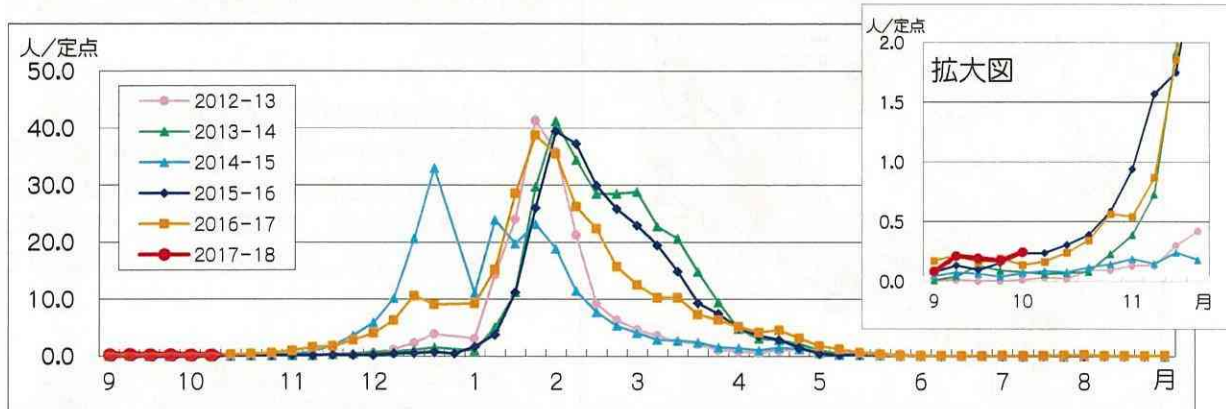


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移(東京都)

はじめに

東京都健康安全研究センターは、インフルエンザに関する様々な情報を、都民の皆様を始め、都内の保健医療関係機関の皆様提供しています。インフルエンザの予防と対策にぜひお役立てください。なお、厚生労働省がインフルエンザシーズンの開始をその年の36週と定めていますので、今号が2018-19年シーズンの第1号となります。

この情報は原則として毎週金曜日に東京都健康安全研究センター内の感染症情報センターホームページ(idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/)に掲載します。

1 インフルエンザとは

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによる呼吸器感染症です。例年、12月頃から流行が始まり、1月後半～2月初めにピークを迎え、3月頃には流行が終わります。

ウイルスにはA・B・Cの3つの型があり、ウイルス表面にあるたんぱく質の組み合わせにより、さら

にいくつかのタイプに分けられます。大きな流行の原因となるのは、A型とB型です。毎年、インフルエンザウイルスは少しずつ変化しながら世界中で流行しています。この変化が大きくなり、全国的に急速にまん延し、国民の健康に大きな影響を及ぼす可能性のあるものが、季節性インフルエンザと区別して「新型インフルエンザ」と呼ばれます。2009年以降、国内で流行しているインフルエンザウイルスは、A型のAH1 pdm09(2009年に流行したインフルエンザ)とAH3亜型(香港型)、B型の3種類です。さらに近年、B型の2つのタイプの混合流行がみられるため、4種類のウイルスタイプに対応するワクチン(4価ワクチン)が導入されています。

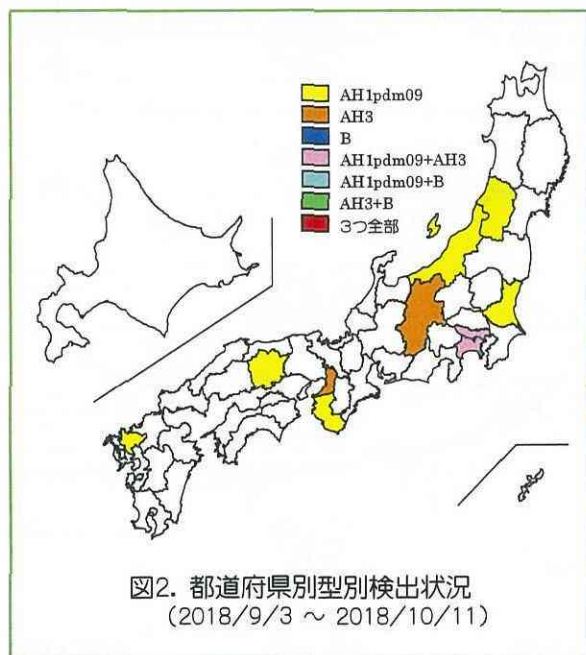
* インフルエンザ定点
419か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

** 基幹定点
25か所(全国約500か所)の医療機関を「基幹定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1pdm09	AH1	AH3	B
36週(9/3-9)	1	0				
37週(9/10-16)	2	2	2			
38週(9/17-23)	3	2	2			
合計			4	0	0	0

*インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載



今季のインフルエンザHAワクチン株

2018/19シーズンのインフルエンザHAワクチン株は次のように決定されました。昨年から変わったのは、A(H3N2)型とB型(ビクトリア系統)です。

A型株

- ・ A/シンガポール/GP1908/2015(IVR-180) (H1N1)pdm09
- ・ A/シンガポール/INFIMH-16-0019/2016 (IVR-186) (H3N2)

B型株

- ・ B/ブーケット/3073/2013(山形系統)
- ・ B/メリーランド/15/2016 (NYMC BX-69A) (ビクトリア系統)

2 インフルエンザ患者発生状況 第40週(10月1日~7日)

【東京都】インフルエンザ定点*からの患者報告数は100人、定点当たり0.24人と先週(0.17人/定点)から少し増加しました(図1)。葛飾区(1.46人/定点)、台東(1.43人/定点)の2保健所管内で流行の目安となる定点当たりの患者報告数1人を超えています。

【全国】患者報告数は848人、定点当たり0.17人です。全国は先週(0.16人/定点)から微増しました。沖縄(2.79人/定点)で定点当たりの報告数が1人を超えています。

3 インフルエンザ学級閉鎖発生状況

37週に今シーズン初めて学級閉鎖の報告が5件(幼稚園2件、小学校3件)ありました。その後、38週に3件、39週に3件、40週に2件、小学校の報告が続いています。

4 インフルエンザ入院患者発生状況

基幹定点**から38週に1件、40週に1件の報告がありました。

5 東京都の検査情報

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体の検査で36~38週にAH1pdm09が4件検出されています(表1)。また、36~40週に定点医療機関以外から搬入された検体の検査では、AH1pdm09が7件、AH3亜型が2件検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、10月5日までに8都県からAH1pdm09、4都府県からAH3亜型が報告されています(図2)。

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073
東京都新宿区百人町3-24-1
TEL : 03-3363-3213
FAX : 03-5332-7365
S0000786@section.metro.tokyo.jp
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>